



朝風

令和2年度
学校報No.20
令和2年9月11日
大仙市立
大曲南中学校

たかが挨拶! されど挨拶!

9月3日に今年度の最後となる「小中合同あいさつ運動」を行いました。今回は、1年生が出身小学校に出向いての活動です。あいさつは、お互いの心を開き、笑顔や会話を導き出します。あいさつによって社風を変革して、業績を改善させた企業もあるようです。あいさつは心がけ次第ですぐにでもでき、効果は絶大です。経営の神様と言われた松下幸之助は、次のように語っています。



私たちの遠い祖先から伝わってきたこのあいさつというものは、いわばおたがいの毎日の暮らしの潤滑油とでもいった尊い働きを果たしているのである。“お寒うございます”と言ったところで暖くなるわけではなし、というのは落語の中の話だけにしたいものである。明るく朗らかに、あいさつをかわしあうことを心がけたいものである。『道をひらく』(PHP研究所)

“お寒うございます”と言ったところで体は暖かくなりませんが、心は温かくなります。

今年度の「小中合同のあいさつ運動」は終了しましたが、今後も校内はもちろん、地域でもさわやかなあいさつのできる南中生を目指します。

南教育事務所指導主事計画訪問

9月3日に、生徒指導担当の鈴○徹南教育事務所指導主事と櫻○武大仙市教育委員会指導主事をお迎えして、生徒指導の取組へのご指導をいただきました。生徒指導というと、生徒の不適切な行動を正す指導と思われがちですが、本来は「社会の中で自分らしく生きることが出来る大人へと児童・生徒が育つように、その成長・発達を促したり支えたりする意図でなされる働きかけ」を意味します。

本校では授業や諸活動で、生徒指導の三つの機能である「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」ことを意識した取り組みを進めています。参観いただいた全学級の授業でも、これらのことが効果的に機能しているとお褒めの言葉をいただきました。また、生徒の適切なSNS利用の重要性についても話題になりました。



大仙市教育アドバイザー訪問



9月9日は大仙市教育アドバイザーの佐○厚○先生の訪問がありました。佐○先生は昨年まで花館小学校の校長を務めた方で、本校の卒業生でもあります。1年生の家庭、2年生の技術、3年生の社会の授業を参観いただきました。佐○アドバイザーからは、「自分の考えや意見をしっかりと述べているし、それを受け止めようとする周囲の雰囲気が良い。望ましい人間関係も構築されている。」との評価をいただきました。

大曲仙北秋季中学校陸上記録会

9月6日に秋田県営陸上競技場で行われた大会で、3年生の小○星○さんと中○絢○さんが1500mに出場しました。十分な調整ができない中でのレースでしたが、2人とも果敢に挑戦し、有終の美を飾りました。

